

梅雨とともに台風4号の襲来。昨夜は、帰宅困難になられた方もおられるのでは…最近の気象はなにか変！本格的な暑い夏を控え、安全と体調管理にはくれぐれもご注意ください。現在会員登録数 835 人さま。ご愛読いただきありがとうございます。次号は7月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

- 【1】お知らせ
- 【2】コラム
  - 《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk
  - 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 22
  - 《3》 サイト紹介 -子どもの本をリサーチする-
  - 《4》 行って来ました!
- 【3】全国のイベント紹介
- 【4】プレゼント

■ [1] お知らせ

● 寄付金を募集しています

当財団では、子ども文化の振興をめざして、子どもと本をつなぐ活動を進めています。さまざまな講座・講演会の開催など、次代を担う子どもたちの豊かな読書活動の支援のために、もっともっと充実させていきたいと考えています。

そのため、当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いいたします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

■ [2] コラム

\*\*\*\*\*

《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

\*\*\*\*\*

『ペッパー・ルーと死の天使』 ジェラルディン・マコックラン/著 金原瑞人/訳 佐竹美保/絵 偕成社 2012年3月 対象年齢：中学生以上

あらすじ：14歳になったら死ぬという聖コンスタンスのお告げがあったことをミレーユおばさんから言われたペッパー・ルーは、死から逃れるため、父親の代わりに船長として船に乗り、デュシェスという世話係に出会う。その船は保険金を得るために沈没させられるが、ペッパーはマルセイユの街に上陸し、名前を変えてデパートの店員、新聞記者、牧場、電報配達、

外人部隊などの仕事を転々としながら、「死」から逃げ続ける。

Y：この作品は14歳で死ぬと言われたペッパーが死への恐怖を乗り越えるストーリーになっていますが、これは、子どもが持っている死への不安や、大人から言われた呪縛から逃れるという普遍的な問題を扱っていると思いました。

O：私は、そんな深刻なテーマより、典型的な追いかけてこの物語、「チェイス・ストーリー」のおもしろい新種ドタバタ劇だと読みました。ペッパーは、居場所と仕事を転々と変える、それを死の影、本当はペッパーを心配するデュシェスが追いつけるゲームのような、とでもいうか…

Y：その上で、ペッパーは逃げる時に、まずは父親になりすまし、それから航海で死んだロシュや病院で薬を飲みすぎて死んだコンスタンティンなどの名前を借り、最後にまた、ペッパー・ルーに戻ります。アイデンティティ探しの物語と読むこともできますよ。

O：逃げるのが、マストの上だったり、灯台のてっぺんだったり、縦横上下に工夫していて、プロットに変化を持たせていますね。

Y：ペッパーは聖コンスタンスから死のお告げを受け、マルセイユに上陸したときには政治的なデモに巻き込まれたりもします。結末では、ペッパーが血のつながらない人と家族になるのも興味深かったです。

O：この作品には、キリスト教、政治、大人社会、ジャーナリズムなどが、出来事や人物の誇張によって批判されていますし、イギリス人のフランス批判も塗り込められていて、いろいろ楽しめました。

Y：ペッパーは新聞に虚構の記事を書いたり、電報配達をしているとき、嘘の電文を読み上げたりしています。

ところで、原書のタイトルは「The Death Defying Pepper Roux」です。

O：日本語タイトルでは「と」で、ペッパーと死の天使が並列になっていますが、本の帯にある「逃げろ、ペッパー!! 死の天使が追いかけてくる」の方が、原題に近いように感じました。

\*\*\*\*\*

## 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 22

\*\*\*\*\*

### その5 絵本の選び方(10) 絵本を評価する：ジャンル h. 写真絵本

写真絵本は、画面が絵ではなく、写真で構成されている絵本です。

絵は、画面に描きたいものを創造していきませんが、写真は、既にある景色や事物を選びとり、アングルを決め、光の加減を操作し、四角い画面で切り取って瞬間を撮影したものです。加工をしない限りは、実際に存在するものが撮影されます。

そこで、写真絵本を選ぶときには、まず、写真を評価することが必要です。魅力的な景色や事物を選び、それらの意味のある瞬間を撮影しているか、アングルや光の加減に工夫はあるか、これらの撮影および現像技術によって、対象物にこれまでにない新しい見方、感じ方が提示されているかということです。

1枚1枚の写真の魅力に加えて、絵本としては、ページのめくりとことばも評価の基準になります。ページのめくりに関しては、アングルの変化やズー

ムアップ、ズームアウトの違い、撮影時間の変化などによって、ドラマが作られることが必要です。また、風景を撮影した写真は、一般的に画面の中の情報量が多いため、ことばも多いと冗長になりがちです。写真の説明ではなく、写真を見る視点が提示されたり、ページの変化に気づかされたりすることばであることが求められます。

例えば『はるにれ』（姉崎一馬/作 福音館書店 1981年11月）は北海道の草原に立つ一本の木を、四季を通して撮影したことばのない絵本です。ズームアップ、アウト、時間の変化による明るさの違い、季節の変化による木と周りの景色の変化によって、はるにれの自然を生き抜く物語が見事に構成されています。また、『クマよ』（星野道夫/作 福音館書店 1999年10月）『いのしし』（前川貴行/作 アリス館 2007年8月）には、野生の動物の写真を通して「生きる」というテーマが描かれています。

『あ』（大槻あかね/作 福音館書店 2008年11月）には、小さな針金の人形が蚊取り線香やマヨネーズなどの日用品と遊ぶ姿を撮影することによって、形や色のユニークさにあらためて気づく楽しさがあります。

昨今はカメラの性能が上がり、小さな虫の顔のアップの写真や、蝶がさなぎから成虫になる変化の写真も見られるようになりました。また、コラージュ作品など、写真を加工した絵本も増えています。それらの画面は驚きをもって迎えられますが、驚きを超えた絵本としての物語性、テーマ性を評価の基準にすべきだと思っています。

\*次号では「その5 絵本の選び方(10) 絵本を評価する：ジャンル i. 科学の絵本」の予定です。質問や意見をいただきましたら、お答えしていきたいと思えます。(Y)

\*\*\*\*\*

《3》 サイト紹介 一子どもの本をリサーチする

\*\*\*\*\*

一次資料データベース篇2回目。今回ご紹介するのは以下のサイトです。

●絵本ギャラリー（国立国会図書館 国際子ども図書館）

<http://www.kodomo.go.jp/gallery/index.html>

画像データベースには、ある特定の時期やコレクションについて網羅的に作成されるケースと、テーマを設定し、そのテーマに沿ってあかたもコンピュータで展示を見るように資料がデジタル構成されるケースがあります。

今回ご紹介する「絵本ギャラリー」は、まさにそうしたデジタル資料展示で、「電子展示会」として、国内外の貴重な絵本画像を6つのテーマで体系的にみることができます。通常の画像データベースと異なるのは、ナレーションや音声等を含む資料解説が見られる（聞ける）コンテンツになっていることでしょう。

例えば、「江戸絵本とジャポニズム」では、江戸時代に庶民に親しまれた草双紙（「ぶんぶく茶釜」など10作品）を紹介。本文すべてを画像で紹介したもので、物語を音声で聞くこともできます。これら作品が生まれた当時はど

のような時代であったのか、庶民文化についての解説もたくさんの図版とともに紹介。サイトでは、江戸期の庶民文化が西洋の絵本画家に影響を与え、それらがやがて逆輸入されて日本の絵本文化を形成していく様子が語られます。音声ガイドとともに展示をみているようです。

このほかのテーマには、イギリス童謡とマザーグースの世界を取り上げた「絵本は舞台」、大正期に誕生した芸術的な絵雑誌が閲覧できる「コドモノクニ」、19世紀末から20世紀初頭にかけての欧米の絵本を紹介する「ユージェントシュティルと絵本画家たち」などがあります。貴重な絵本の数々、解説とともにぜひ一度ご覧ください。(J)  
※次号は、一次資料データベース篇〈その3〉の予定です。

\*\*\*\*\*

《4》 行って来ました！

\*\*\*\*\*

滋賀県立近代美術館で開催中の展覧会「チェブラーシカとロシア・アニメーションの作家たち」に行ってきました。

チェブラーシカといえば、小さな茶色い体に大きな耳にまんまるな目のキャラクターが思い浮かびますが、ロシアの作家ウスペンスキーが書いた童話『ワニのゲーナとおともだち』（1966年初版）では、ミミズクのような大きな黄色い目にウサギのような頭で子グマのような尻尾をもつとされ、挿し絵のチェブラーシカは真っ黒なタヌキかモモンガのような風貌です。

現在のチェブラーシカのイメージは、1969年にロマン・カチャーノフ監督により人形アニメーション化されたもので、人気キャラクター誕生の歴史がわかります。他にも、いろいろな人に描かれた（作られた）数々のチェブラーシカに出会えます。マンガっぽいチェブ、リアルなハムスターのようなチェブ、さらには、黒いぬいぐるみ、青や黄色の人形、ピンバッジなど個性的なチェブがいっぱい、チェブ好きにはたまりません。

2010年公開の新作映画で使用された舞台装置と人形たちが展示されているコーナーでは、映画のシーンさながらに人形たちが今にも動き出してくそうです。ロシアでアニメーションが作られるようになって100年だそうで、古い作品から新進作家のものまで、イラストやセル画、映像などでたくさん紹介されています。すべてを楽しむにはゆっくり時間が必要です。出口に立っていた着ぐるみのチェブが愛らしく、カメラに収めて帰ってきました。(K)

■—————■

### 【3】全国のイベント紹介

■—————■

● 児童文学講演会「—すべての子どもに本のよろこびを一本はたからもの」

講 師：中川李枝子（児童文学作家）

日 時：平成24年7月1日（日）午後1時～4時

場 所：大阪府立中央図書館 大会議室（東大阪市荒本）

参加費：有料 申込み：必要

主 催：大阪国際児童文学館を育てる会

共 催：大阪府立中央図書館、財団法人 大阪国際児童文学館

● 国際フォーラム「図書館のYAサービスの可能性

ーハンブルク青少年図書館 (Hoeb4U) と日本の事例からー

発表者：ジャネット・アッハベルガー (ハンブルク青少年図書館館長)

小川 剛 (京都精華大学国際マンガ研究センター研究員)

大西敏之 (南丹市立中央図書館館長・京都府図書館等連絡協議会会長)

司 会：土居安子 (財団法人大阪国際児童文学館 主任専門員)

日 時：平成 24 年 7 月 4 日 (水) 午後 2 時～4 時

場 所：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 ホール

(京都市左京区吉田河原町)

参加費：無料 (午後 4 時 30 分からの交流会は 800 円) 通訳あり

申込み：7 月 1 日 (日) までに Eメール

主 催：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

● 講演会「『世界』の受け止め方と受け入れ方

ー戦後の翻訳叢書と少年少女の『教養』形成ー

講 師：佐藤宗子 (千葉大学教授)

日 時：平成 24 年 7 月 2 1 日 (土) 午後 2 時 30 分～4 時 30 分

場 所：大学コンソーシアム大阪

(大阪駅前第 2 ビル 4 階 キャンパスポート大阪)

参加費：資料代として 500 円 申込み：不要

主 催：日本イギリス児童文学会 西日本支部

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/04\\_other/index.html](http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html)

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

---

【4】プレゼント

---

当財団特製のトートバッグ (横31.5×縦25×まち9cm) を 3 名の方にプレゼントします。実物写真はこちらからご覧ください。↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/m1\\_magazine/no22p.pdf](http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/no22p.pdf)

ご希望の方は、メールで 件名「IICLO MAGAZINE NO. 22プレゼント希望」とし、

(1)お名前 (2)郵便番号・住所 (3)電話番号 (4)メールアドレス (5)このメルマガのご感想 をお書きのうえ [office@iiclo.or.jp](mailto:office@iiclo.or.jp) にお送りください。

締切は 7 月 10 日 (火)、当選発表は発送をもって代えさせていただきます／

編 | 集 | 長 | の | つ | ぶ | や | き |

6 月下旬は各企業の株主総会の季節。当財団も決算役員会の時期です。想定 (予算) どおりとはいえ、毎年の赤字決算の現実が重く私の頭を覆います。それでも、図書の寄贈・寄付金の募集・事業協力など、ボランティアの方や関係団体など本当に多くの方々を支えていただいています。心から感謝です。止まぬ雨はない…前を向いて歩き続けよう！ (A)

---

---

みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください。下記メールアドレスまで  
お願いします。原則として返信はいたしませんのでご了承ください。

●このメールマガジンは、ご登録いただきました皆様に配信しています。

●配信の登録・解除・変更は、

[http://www.iiclo.or.jp/m1\\_magazine/index.html](http://www.iiclo.or.jp/m1_magazine/index.html) パソコンからどうぞ

●このメールの送信アドレスは配信専用です。

●記事の無断転載はご遠慮ください。

---

発行：財団法人 大阪国際児童文学館 <http://www.iiclo.or.jp/>

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内

TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp

---